

大斎節第4主日（聖書協会共同訳）

恵み深い父なる神よ、み子はすべての人のまことの命のパンとなるために、天からこの世に降られました。どうか命のパンによってわたしたちを養い、常に主がわたしたちのうちに生き、わたしたちが主のうちに生きられるようにしてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 歴代誌下 36章14－23節

36:14 祭司長たちと民のすべても諸国民のあらゆる忌むべきことに倣って背信の罪を重ね、エルサレムで主が聖別された神殿を汚した。15 先祖の神、主はその民と住まいを憐れみ、彼らに御使いを日々繰り返し遣わされたが、16 民は神の使いを弄び、その言葉を侮り、預言者を嘲笑した。それゆえ、民に対する主の憤りは、もはやとどめようがなくなるまでになった。

17 主はカルデア人の王を彼らに向かって攻め上らせた。王は若者たちを聖所の中で剣にかけて殺し、若者もおとめも、弱った老人も容赦しなかった。主はすべての者を彼の手に渡された。18 彼は神殿の大小のあらゆる祭具、主の神殿の宝物、王とその高官たちの宝物、それらすべてをバビロンに運び去った。19 カルデア人は、神殿を火で焼き、エルサレムの城壁を破壊し、宮殿を焼き払い、貴重な器すべてを粉々にした。20 彼はまた、剣を免れた生き残りの者をバビロンに連れ去った。この人々は、ペルシアの王国が統治するようになるまで、バビロンの王とその息子たちの僕となった。21 これは、主がエレミヤの口を通して告げられた言葉が実現し、この地が安息を取り戻すためであった。荒廃の全期間、すなわち七十年が満ちるまで、地は安息を得たのである。22 ペルシアの王キュロスの治世第一年のことである。主は、エレミヤの口を通して伝えられた主の言葉を成就させるため、ペルシアの王キュロスの霊を奮い起こされた。王は国中に布告を発し、また文書をもって次のように述べた。23 「ペルシアの王キュロスはこのように言う。天の神、主は地上のすべての王国を私に与えられ、ユダのエルサレムに神殿を建てることを私に任された。あなたがたの中で主の民に属する者は誰でも、その神、主がその人と共におられるように。その者は上って行きなさい。」

詩編 第89編46—52節

- 46 主よ、いつまで身を隠されるのか // あなたの怒りは永遠に燃え盛るのか
47 わたしのことを思い出してください、人の命は短い // あなたはすべての人の子を、何とむなしく
48 生きている者で死を見ない者があろうか // 自分を死の力から救い出せる者があろうか

- 49 主よ、まことをもってダビデに誓われた // その慈しみは今どこにあるのか
50 主よ、あなたの僕を心に留めてください // 諸国の民のそしりに耐えることができま
51 主よ、あなたの敵はわたしをあざけり // 油注がれた者をなぶり者にしている
52 主が永遠にたたえられるように // アーメン、アーメン

使徒書 エフェソの信徒への手紙 2章4－10節

2:4 しかし、神は憐れみ深く、私たちが愛された大いなる愛によって、5 過ちのうちに死んでいた私たちを、キリストと共に生かし——あなたがたの救われたのは恵みによるのです——、6 キリスト・イエスにおいて、共に復活させ、共に天上で座に着かせてくださいました。7 それは、キリスト・イエスにおいて私たちが賜った慈しみにより、神の限りなく豊かな恵みを、来るべき世々に現すためでした。8 あなたがたは恵みにより、信仰を通して救われたのです。それは、あなたがたの力によるのではなく、神の賜物です。9 行いによるものではありません。それは、誰も誇ることがないためです。10 私たちは神の作品であって、神が前もって準備してくださった善い行いのために、キリスト・イエスにあって造られたからです。それは、私たちが善い行いをして歩むためです。

福音書 ヨハネによる福音書 6章4－15節

6:4 ユダヤ人の祭りである過越祭が近づいていた。5 イエスは目を上げ、大勢の群衆がご自分の方へ来るのを見て、フィリポに言われた。「どこでパンを買って来て、この人たちに食べさせようか。」6 こう言ったのはフィリポを試みるためであって、ご自分では何をしようとしているか知っておられたのである。7 フィリポは、「めいめいが少しずつ食べたとしても、二百デナリオンのパンでは足りないでしょう」と答えた。8 弟子の一人で、シモン・ペトロの兄弟アンデレが、イエスに言った。9 「ここに大麦のパン五つと魚二匹とを持っている少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、それが何になりましょう。」10 イエスは、「人々を座らせなさい」と言われた。その場所には草が多かった。それで、人々は座った。その数はおよそ五千人であった。11 そこで、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えてから、座っている人々に分け与えられた。また、魚も同じようにして、欲しいだけ分け与えられた。12 人々が十分食べたとき、イエスは弟子たちに、「少しも無駄にならないように、余ったパン切れを集めなさい」と言われた。13 集めると、人々が大麦のパン五つを食べて、なお余ったパン切れで、十二の籠がいっぱいになった。14 人々はイエスのなさったしるしを見て、「まさにこの人こそ、世に来るべき預言者である」と言った。15 イエスは、人々が来て、自分を王にするために連れて行こうとしているのを知り、独りでまた山に退かれた。